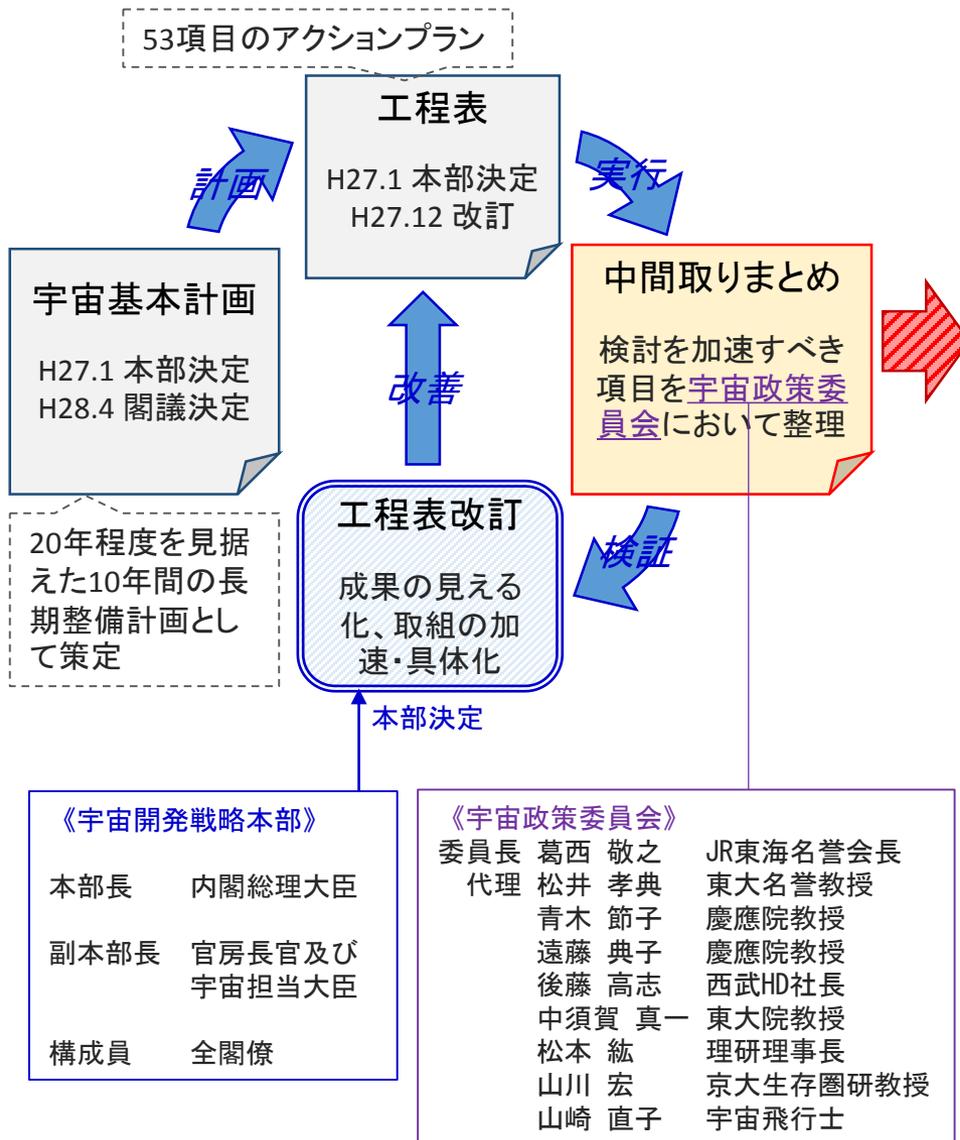


◆「宇宙基本計画」の「工程表」を実のあるものとすべく、検討を加速すべき項目を整理し、工程表の改訂を行う。



今回の「中間取りまとめ」のポイント

1. 個別プロジェクトの検討具体化・加速

- 29項目について各省へ取組の方向性を提示。
 - ・準天頂衛星・リモセン衛星・通信衛星プロジェクトの推進
 - ・新型基幹ロケット等の開発、射場検討
 - ・宇宙状況監視、海洋状況監視、デブリ総合対策等
 - ・宇宙科学・探査、国際有人宇宙探査の検討加速
 - ・新事業創出促進や、人的基盤の強化等

2. 宇宙産業ビジョンの検討

- 宇宙活動法の整備と併せ、宇宙産業の将来像を示す。
- GDP600兆円に向け、宇宙とIoT、ビッグデータ、AIの視点から新ビジネス創造等、宇宙機器・利用産業の将来像を検討。

3. 衛星リモートセンシングポリシーの検討

- 衛星リモセン法の整備と併せ、政策面の支援や民間の利活用を戦略的に推進。
- 世界および我が国の現状を踏まえた論点を整理し、衛星リモセン関連政策の中長期的な方向性を示す。

4. 海外市場開拓のための政策パッケージ提示

- これまでの成果を踏まえ課題と教訓を整理。
- 年末に向けて政策的対応を具体化。